

様式 F - 7 - 1

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成27年度）

1. 機関番号 

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名 挑戦的萌芽研究 4. 補助事業期間 平成26年度～平成28年度

5. 課題番号 

2	6	5	4	0	1	8	2
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 発達障害児のメディア・リテラシー育成のためのSNSプラットフォーム

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
2 0 2 3 2 1 2 6	イイダ ハジム 飯田 元	情報科学研究科	教授

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

## 9. 研究実績の概要

27年度前半には、オープンソースのコンテンツマネジメントシステムDrupalによる試作ソーシャルネットワークサービスにビデオ投稿等の機能追加など、必要な試作実装を進めた。さらに、前年度に検討を行った「レゴ・マインドストーム」を用いた療育プログラムを模擬的に実施し、その運営サイトとして、試作システムを実際利用する実験を行った。対象として4名の児童（健常者を含む）と保護者に参加してもらい、ファシリテータ1名（本学博士研究員）とティーチングアシスタント2名（本学博士前期課程学生）による制作指導を4回にわたり実施した。途中経過の報告や作品紹介ムービーの投稿などのタスクを行わせたが、PCの操作スキルが低く、保護者の支援がなければWebに書き込めなかったケースや、情緒不安定を理由に途中で参加をとりやめたケースなどがあり、システムの機能について十分な評価を得ることができなかった。このため、28年度には、27年度の知見に基づいた試作システムの改善と、再実験を行うこととし、そのための計画の具体的検討を行った。

## 10. キーワード

- |           |                 |                 |         |
|-----------|-----------------|-----------------|---------|
| (1) 発達障害児 | (2) ソーシャルネットワーク | (3) コンピュータリテラシー | (4) 自閉症 |
| (5) 療育支援  | (6)             | (7)             | (8)     |

## 11. 現在までの進捗状況

(区分)(3) やや遅れている。

(理由)

模擬療育タスクにおいて十分な量の使用データが収集できなかったため、翌年度再実施することとした。

## 12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

評価実験の再実施を通じて、ひな形となるSNSプラットフォームの機能を整理し直し、プロトタイプとして公開を予定している。なお、試験運用の結果が良好であれば、継続的な運営を視野に入れた検討も行う。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

実験の規模が不十分であったため、翌年度に再実施することとしたため。

(使用計画)

2回目の運用実験を7～8月に実施し、成果発表を行う。

(課題番号： 26540182 )

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

## 13. 研究発表(平成27年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件/うち査読付論文 計(0)件/うち国際共著 計(0)件/うちオープンアクセス 計(0)件

著者名		論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
オープンアクセス						

(学会発表) 計(0)件/うち招待講演 計(0)件/うち国際学会 計(0)件

発表者名		発表標題	
学会等名	発表年月日	発表場所	

(図書) 計(0)件

著者名		出版社	
書名		発行年	総ページ数

## 14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(課題番号: 26540182)

(注)・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

## 15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

(国際研究集会) 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

## 16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究: -

## 17. 備考

--